



ITmedia Inc.

読者アンケート＋ 編集タイアップ制作パッケージ

お申込み締め切り：2025年4月30日（水）

VISITORS

LEADS

CONVERT

CLOSE

DELIVER

読者アンケート+編集タイアップ制作パッケージ

まずは読者アンケートを実施。見えてきた課題に刺さるコンテンツ制作までセットで提供します



- 今回のプロモーション対象商材について、読者はどんな課題感を持っているのだろうか？
- ターゲット層にはどんなメッセージを出せば響くだろうか？
- 出すべきコンテンツは精査したいが、ハウスリストも今すぐ拡充したい……



そんなお悩みに応えるのが【読者アンケート実施+コンテンツ制作】とそれぞれのリード獲得がセットになった本パッケージです



読者アンケート（サーベイ）実施+リード獲得



編集タイアップ制作+リード獲得

パッケージ詳細

読者アンケート (サーベイ)

業務課題などを尋ねるアンケートを実施します。対象分野における課題感を把握しながら、リードを獲得可能です。設問案はタイアップ記事を想定して当社が制作し、貴社と調整させていただきます



- 設問内容は弊社からご提案します
- 回答時に個人情報提供許諾を取り、アンケート回答と合わせてリード情報を獲得します。ハウスリストを拡充することが可能です
- 回答内容からリードの状況を掴むことができ、追加の情報提供や電話のフォローアップなど、最適なアプローチが可能です

設問例) ネットワークセキュリティ製品の場合

- Q1. ネットワークセキュリティに関して現在の主な課題は何ですか？
- Q2. 現在使用しているセキュリティ対策は何ですか？
- Q3. 今後導入を検討しているセキュリティ対策は何ですか？
- Q4. セキュリティ対策を導入する上での課題は何ですか？ 等

編集タイアップ記事制作

アンケートで明らかになった課題から、編集部が監修してタイアップ記事を制作します。回答者が抱えている課題や懸念に対し、貴社製品・サービスがどのように応えられるのか細解く内容となります



- 記事1本あたり4000字程度
- 冒頭500字程度を全体公開して、「続きを読む」を選択した読者へ、**会員情報の提供と引き換えに全文公開**します
- 制作したコンテンツは**追加費用無しで貴社サイト等で二次利用**していただけます (改変不可/出典表記必須)

記事構成例) ネットワークセキュリティ製品の場合

- ・ 調査から見てきた、**読者の課題感**を示す
- ・ その課題に対する**ベンダーの見解** (各課題がなぜ発生するか、どのような影響があるのか、など貴社ご担当の方が解説)
- ・ 課題を具体的に解決する手段とは? → **貴社製品を紹介**

ご提供価格

読者アンケート（サーベイ）施策	
基本料金	¥ 100,000
リード獲得（100件） カテゴリB/ユーザ企業指定（単価8,000円）	¥ 800,000
サーベイフォーム制作 ※設問制作を含む	¥ 300,000
パッケージ価格ディスカウント	¥ -200,000
	¥ 1,000,000 (定価 ¥ 1,200,000)

編集タイアップ記事制作施策	
基本料金	¥ 100,000
リード獲得（100件） カテゴリB/ユーザ企業指定（単価8,000円） 貴社資料を1本、ご支給いただきます	¥ 800,000
タイアップ記事制作 ※コンテンツ制作オプション	¥ 500,000
パッケージ価格ディスカウント	¥ -200,000
	¥ 1,200,000 (定価 ¥ 1,400,000)



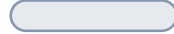

パッケージご提供価格 **¥ 2,200,000**
定価 ¥ 2,600,000

当社のカテゴリBに当てはまらない場合、該当する単価および保証件数へ変更させていただきます。リードの獲得条件や保証件数はカスタマイズが可能ですので、お見積りはお気軽に担当営業までお問い合わせください。

パッケージではなく別々にご実施いただく場合、パッケージ価格ディスカウントは適用されません。代わりに、基本料金を無料でご提供致します。「編集タイアップ記事制作」のみだと、記事内容の元になるアンケートがないため、通常の取材記事（製品解説、事例取材、等）をお作り致します。

(例) 実施スケジュール

※4/30締切日にお申込みの場合

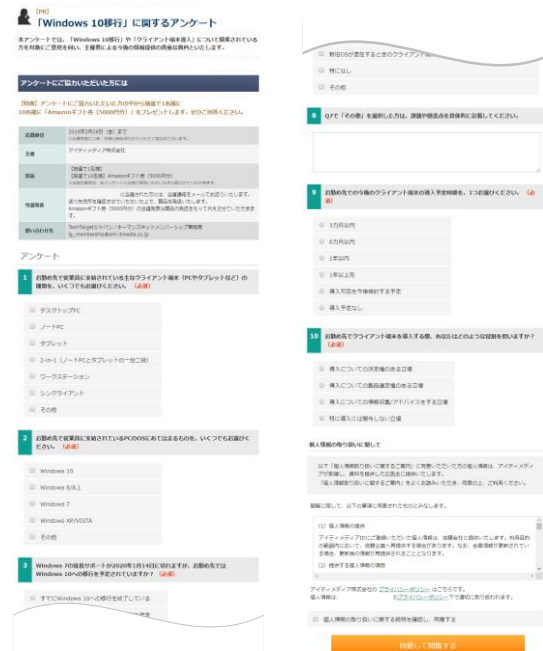
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
お申込み後、サーベイ設問制作 ※アイティメディアから設問案を提示します						
リード獲得（サーベイ） ※想定獲得期間：約1~2か月間						
サーベイ終了後、タイアップ記事制作 ※取材から掲載までの期間は約17営業日となります						
リード獲得（タイアップ記事） ※記事に加えて貴社資料を1本、ご支給いただきます						

※複数社協賛型のため、他社の協賛状況により開催できない場合がございます
※掲載するプライバシーポリシーは原則1社までとなります
※販売パートナー等と共同出展の場合のみ、合計2社まで掲載を承ります

※ご協賛いただける場合、以下の提出物を担当営業までご提出ください。
・リード情報の納品先（お名前、メールアドレス、部署名）
・パーミッション取得時に掲載するプライバシーポリシー

サーベイフォーム 仕様詳細

- サーベイフォームについて
 - 製品の導入状況や今後の予定、現在抱えている課題などを聞くサーベイフォームを制作します
 - 回答送信時にオプトインを取得することで、コンテンツを使わずにリードを獲得します
 - アンケートの設問内容は貴社にてご用意下さい
 - 準備期間は、設問内容確定・ご共有後、約6営業日となります
- サーベイフォーム仕様
 - 設問タイプ：シングルアンサー、マルチアンサー、テキストボックス
 - 必須回答/任意回答：設定可能
 - 設問数：10問以内（「その他」の具体的な内容を記載する枠を設ける場合も1問としてカウントします）
 - 各問の選択肢：10個以内
 - 設問数・選択肢数が10問を超える場合は、原則対応できかねます。必要な場合、対応可否と追加料金のお見積もりを別途協議させていただきます。
- 設問の制作代行
 - 当社による設問設計は有償にて承ります（20万円/アンケート1点）
 - ヒアリングシートをご共有いただいたから約16営業日で公開可能です（複数本同時に制作する場合は要調整）
 - 設問制作にあたってご希望をインプットいただく場として、お打ち合わせのご実施が可能です（任意/30分程度）
- インセンティブ
 - 回答促進のためのインセンティブとして、3万円分のAmazonギフトカードが料金に含まれています
 - 貴社にてご手配いただく景品をインセンティブにすることも可能です
- 備考
 - サーベイフォームのみでは製品・サービスに対する認知獲得が難しいため、コンテンツを用いてのリードジェンとの併用をお勧めします



編集タイアップ 仕様詳細

- 編集タイアップについて
 - 編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事広告です
 - 冒頭部分はだれでも閲覧でき、「続きを読む」でリードを獲得します
- コンテンツ仕様
 - ページ数：1html
 - 文字数：4,000文字程度（うち、500文字程度が公開ページ掲載分）
 - 図版点数：3点まで（写真/イメージ図版主体）
 - 企画協力：あり
 - 取材有無：あり
- 備考
 - 取材から掲載までの期間は約17営業日となります
 - 原稿の校正はテキスト原稿、HTMLの各1回ずつを想定しており、校正の回数に応じて、公開までの日数は適宜変動いたします
 - 記事広告内に掲載するイメージ図版は貴社にてご用意下さい
 - 終了後も一部を除きコンテンツは掲載され続けます
 - タイアップ記事のPV、UBのレポートはございません
 - 遠方での取材や有識者のアサイン、特別な制作費（イラストなど）が発生する場合は、別途追加費用を申し受けます
 - 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
 - 初校の出直し：¥300,000、念校以降の修正：¥100,000
- 二次利用について
 - 記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します
 - 本企画にて制作した記事広告は、変更がなければ無償で二次利用していただくことが可能です（ウェブ上での利用に限定、要出典表記）
 - 印刷物でのご利用は二次利用費が発生します。詳細は、担当営業までお問合わせ下さい
- オプション：カスタム記事パンフレット制作
 - 制作した編集タイアップ記事をPDFや印刷物でご利用いただける有料オプションもございます。詳細は担当営業までお問い合わせ下さい。

堅牢性と利便性を両立する VPN強制と“インターネットブレイクアウト”とは？

この分野のデファクトスタンダードサービスが、VPNの導入（いわゆる「VPN強制」）を徹底できない点、VPN強制の課題が引き起こされた。セキュリティと利便性の両立を実現する新ソリューション。

【Pwintecレポート】

端末のVPN接続をソフトウェアで「強制」する

「指定の端末があるとき『業務に必要なWebサイトにはアクセスできない』といったグレートユーザー政策を実施していれば、データの漏洩や不正なファイルのダウンロードといったリスクを減らすことができます。ですが、世間で標準を排他して、直接インターネットにアクセスできず、社内ネットワークを通じてのみインターネットに接続可能な状態になる、利便性もありません。これは企業にとって大きな問題です。この問題を解決する、アウトの接続、富士通 富士通、アクセスコントロール接続制御」だ。

こうした問題を解決するが、各自のユーザーが接続した端末を、接続ソフトウェア「デバイスコントロール」で、端末のインターネット接続にアクセスされる感知がセキュリティリスクを最小化できる。各端末にインストールしてあげば、社内ネットワーク（社内ネットワーク）をVPNに接続できるよう「強制」可能で、VPN強制のインターネットアクセスを管理するソフトウェアだ。

富士通は以前のように見ると、「デバイスコントロール」の導入は、利用者が全く意識しなくても発生する。接続ソフトウェアに接続する端末を認識してはいるが、利用者は再度VPNに接続して接続する必要がある。セキュリティリスクも低減し、かつ利便性も確保できる。また、端末の接続状況も把握できる。

VPN経由の接続を強制（社外利用）

接続先チェック機能の結果から、社内ネットワークを通常接続、社外からVPN接続の適切な許可を行うことができます。

接続先チェック機能とVPN接続制御機能は利用LANに依存しています。

※：VPN接続制御機能は、富士通製品です。

どのように端末の社外利用を判定するのか

社外には、自宅Wi-Fiだけでなく様々な種類の公開無線LANなどさまざまなアクセスポイントがある。富士通 Device Controlは端末からの接続であることに加えVPN接続を強制するだけでなく、どのようにして社内/社外ネットワークを判定するのがある。

その判定は「デバイスコントロール」で、接続したアクセスポイントのSSIDが、あらかじめ設定した社内/社外/SSIDを念慮する機会に社外と判定し、VPN接続を強制する。しかしこの判定では、悪意を持った従業員が、社外アクセスポイントと見せかけるSSIDを接続できてしまう可能性がある。このため社内/社外に対してping値（応答時間）を実行し、応答が正常に返ってくることで初めて社内ネットワークと判定する。

「社外ネットワークの判定にIPアドレスを使っている側のソフトウェアは、ICSSD（.png）などの機能に接続できることが富士通 Device Controlの機能です」と富士通は説明する。



アイティメディア株式会社 営業本部

TEL : 03-6893-2247 / 2248 Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

会員プロフィールや特集予定、お問い合わせはこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/>